



せいしょ きせき ものがたり
 聖書の 奇跡の 物語：

あぶら ぶ やもめの 油が 増える

れつおう きげ だいしやう せつ
 (列王記下 第4章 1-7節)



よげんしゃ ひとり おっと も つま たす もと き
 預言者の一人を 夫に 持つ 妻が、エリシャのもとへ 助けを 求めに 来ました。

「あなたのしもべである わたしの おっと し 夫が 死んでしまいました。いま か ぬし き
 わたしの 二人の 子供を 連れ去り、どれいに しようと しています。」

そこで エリシャは かのじよ 彼女に たずねました。「あなたの いえ なに 家には 何が ありますか？」

かのじよ こた ひと あぶら いがい なに
 彼女は 答えました。「一びんの 油以外は、何も ありません。」

すると、エリシャは い きんじよ 言いました。「近所じゅうから、できるだけ たくさん、から うつわ
 かりて来なさい。帰ったら 家の とびらを 閉め、油を すべての 器に 注ぎなさい。」

かのじよ うつわ あぶら そそ ぜんぶ
 彼女が それらの 器に 油を 注ぎ、全部 いっぱいになると、息子に 言いました。

「もっと 器を 持っておいで。」

むすこ い うつわ
 息子は 言いました。「器は もう ありません。」すると、あぶら と 油は 止まりました。

エリシャは かのじよ い あぶら う か かね かえ
 エリシャは 彼女に 言いました。「その 油を 売って、借りた お金を 返しなさい。

のこ かね こども く
 残った お金で、あなたと 子供たちは 暮らしていけます。」